

DV(ドメスティック・バイオレンス)

配偶者やパートナーなど親密な関係にある人、または親密な関係にあった人から受ける暴力をDVと言います。また、一緒に住んでいない交際相手から受ける暴力をデートDVと言います。

DVの種類

殴る・蹴るだけが暴力じゃない!!

身体的暴力

殴る、蹴る、髪の毛をひっぱるなど



精神的暴力

怒鳴る、無視する、「別れたら自殺する」などと脅す、「お前のせいだ」と責めるなど
※モラハラも含まれます。



経済的暴力

生活費を渡さない、働くことに反対する、借金をさせるなど



社会的暴力

スマホをチェックする、友達付き合いを制限する、行動を監視するなど



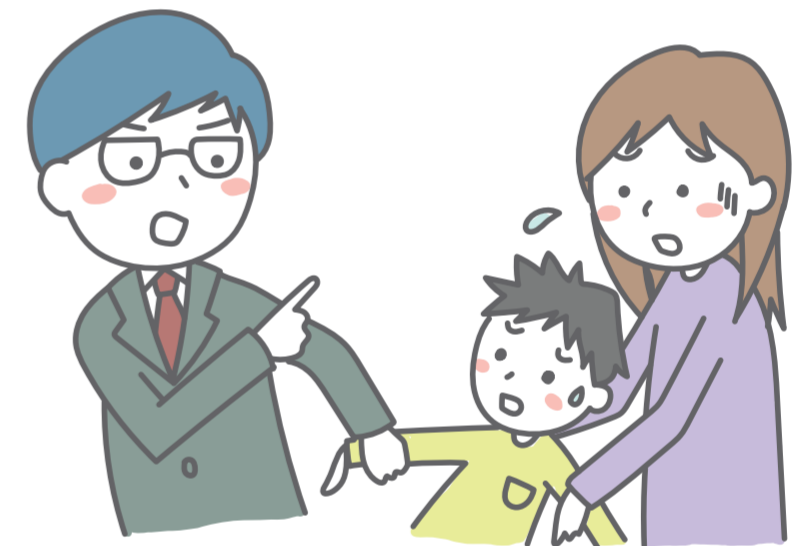
性的暴力

性行為を強要する、避妊に協力しない、見たくないポルノビデオや雑誌を見せるなど



子どもを利用した暴力

子どもに危害を加えると脅す、子どもの前で暴力をふるう、子どもを道具のように扱うなど



※これらの暴力はどれか一つだけでなく、複雑に重なって起きる場合が多く見られます。

DVのサイクル

バクハツ期

激しい暴力・暴言、長時間の説教などで相手を追い込む
被害者: 怖い、もう無理、これ以上は関係を続けられない



ラブラブ期

優しくなり、「ごめん、もう二度としない」と言って謝ったり、プレゼントを買ってきたりする
被害者: やっぱり優しい人、もう一度信じてみよう、やり直せるかもしれない



イライラ期

ちょっとしたことで機嫌が悪くなり、ピリピリする
被害者: 怒らせないようにしよう、自分のせい??



※暴力は繰り返され、サイクルの間隔が短くなり、徐々にエスカレートします。また、サイクルによって、被害は長期化します。すべてのDVがこのサイクルに当てはまるわけではありません。



DVについてのQ&A

Q1 DVとケンカは何が違うの？

A お互いが対等な立場でぶつかるならケンカですが、暴力や暴言により支配関係にあるならDVです。相手の顔色をうかがう、一緒にいると怖いなどと思うのであれば、DVの状態かもしれません。

Q2 束縛や性行為を求められるのは愛されているから？

A 束縛や性行為の強要は愛情表現ではありません。それらを愛情表現の一つと勘違いさせられている場合がありますが、それは暴力により相手を支配下に置く行為です。

Q3 どういう人がDVをするの？

A 加害者に一定のタイプはなく、年齢、性別、学歴、職業、年収に関係がないと言われています。人当たりが良く、社会的信用もある人が、家ではDVをしているというケースもあります。

Q4 子どもが暴力や暴言を直接見ていないから、子どもへの影響は心配ない？

A 子どもが目撃していなくても、家庭内の緊張感や被害者の不安は赤ちゃんであっても伝わります。DVは夫婦やパートナー間だけの問題ではありません。ちなみに、子どもの前で行われるDV(面前DV)は、児童虐待になります。

Q5 子どものことを考えたら、我慢した方がいいの？

A 親のDVを目撃することによって子どもが精神的に傷ついたり、暴力も愛情表現の一つだと誤って認識したりするなど、子どもの健全な成長を妨げます。また、加害者への恐怖心やストレスから、被害者が子どもへ暴力をふるってしまう事例もあります。我慢することが子どもにとって良いこととは限りません。

Q6 どうしてDVは発見されにくいのか？

A DVは家庭内で行われることが多いため、発見が困難です。また、被害の内容が重い、性的なことを含んでいるためになかなか話せない、相談すると暴力がひどくなるかもしれないという不安、たいしたことない・自分さえ我慢すればいいと思わされていることなどにより、一人で悩み抱え込む人も多くいます。

Q7 どうして暴力を受けているのに逃げられないの？

A 暴力を受け続けることで、暴力のある状況に慣れてしまいます。また、恐怖や不安から逃げる気力が奪われたり、逃げても見つけられると思わされていたりします。さらに、逃げた後の経済的な不安もあるため、逃げることを決断するのは簡単ではありません。



性暴力

本人の同意のない性的な行為はすべて性暴力です。

年齢、性別にかかわらず起こります。

被害者の多くが女性ですが、男性の被害者もいます。

相手が配偶者やパートナー、恋人などの身近な人であっても、

望まない性的な行為は性暴力にあたります。

性暴力は、「魂の殺人」と言われます。

被害者の尊厳を踏みにじり、こころとからだに長期的にわたって傷跡を残す、決して許されない行為です。

性暴力となる行為の例

● 強姦性交(レイプ・強姦)

● 痴漢

● セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)

● デートDV

● 酔わせて性的行為を強要

● SNSを利用した性被害

性的な画像を要求され拡散される、なりすました相手からの性暴力被害など。

● レイプドラッグ被害

飲み物に睡眠導入剤や抗不安薬を混入され、意識や抵抗力を奪われて、性暴力の被害に遭うこと。

● JKビジネス

女子高生(JK)を中心とした若年女性を「簡単に稼げる」「おしゃべりするだけ」などの甘い言葉で巧みに誘い込み、表向きは適法な営業を装いながら、裏では性的なサービスを客に提供させている接客業のこと。

● AV出演強要

若年女性をモデルやタレントとしてスカウトするなどして誘い込み、アダルトビデオへの出演を強要すること。



※性暴力となる行為は、これらに限定されるわけではありません。



性暴力にまつわる誤解

1

✗ 加害者は見知らぬ人

○ 加害者の多くが顔見知りで、家庭内での被害も多い

〈加害者との関係〉

まったく知らない人:約1割

交際相手や配偶者、知人などの顔見知り:約9割

まったく知らない人からの被害



交際相手や配偶者、知人などの顔見知りからの被害

参照:「男女間における暴力に関する調査(令和2年度)」より

2

✗ 被害者に落ち度がある

○ 被害者の服装や行動は関係ない

いいえ、どのような場合でも、悪いのは加害者であり、被害者は決して悪くありません。

夜道を一人で歩いていたから

露出度の高い服装だったから

二人きりになったから

思わせぶりな態度をとったから

3

✗ 抵抗しなかったからじゃないの?

○ 不意打ち、脅迫、恐怖心などで抵抗できなかった

被害者には「抵抗できなかった」理由があります。

不意をつかれ、突然に襲いかかられた

「何もしない」「乱暴しない」などと騙された

相手との関係性から拒否できなかった

驚きや混乱などで体が動かなかった

脅された、暴力をふるわれた

参照:「男女間における暴力に関する調査(令和2年度)」より

DVや性暴力の相談を受けたら

被害を打ち明けることはとても勇気がいることで、あなたを信頼して相談をしてくれています。

- ♥ 被害者の話を丁寧にじっくりと聴いて、気持ちをそのまま受け止めてください。
- ♥ 被害者に落ち度はありません。「あなたは悪くない」「どんな理由があっても暴力は許されないこと」を強く繰り返し伝えてください。
- ♥ あなた自身も抱え込んでしんどくならないように、専門の相談機関に相談してください。
- ♥ 専門の相談機関を一緒に探したり、紹介したりしてください。

話してくれてありがとう
あなたは何も悪くない



気を付けてほしいこと

あなたの何気ない言動が被害者をさらに傷つけてしまうことがあります。これを二次加害と言います。二次加害で被害者を苦しめないよう、言動には気を付けてください。

気を付けたい NGワード! DV編

「あなたにも非があるんじゃない?」「それぐらい我慢したら?」
「そんな喧嘩よくあること」「どうしてもっと早く逃げないの?」
「あんな優しくそうな人が本当に暴力をふるうの?」
「子どものことを考えたら離婚しない方がいいんじゃない?」
など

「ガードが甘いから」「男が被害に遭うわけがない」
「なぜこんなことになったのか」「話を聞くのがつらい」
「そんなことありえない」「あなたが~したから」
「被害がその程度でよかった」「早く忘れたらいい」
「警察に相談すべき」
「あなたなら大丈夫」「頑張れ」「あなたの気持ちわかるよ」
など

気を付けたい NGワード! 性暴力編